

2010年度

科目名	ゼミナールⅠ		
担当教員	竹本 封由之進		
配当	教福3	コード	33560
開期	通年	講時	水曜日3限
		単位数	4
授業テーマ	絵画制作を通し、自己表現力を高める		
目的と概要	<p>絵画表現にある基本的な事柄について、実証的に研究を進める。主として絵画制作の実習を通し、自らの造形表現力を養います。</p> <p>本講座では、上手・下手や芸術作品をつくる世界は求めません。自己表現・自己実現の具体的な形としての制作を目指します。絵画制作を通して、自らの人生観を確立し、生涯の友としてもらいたいと考えます。ゼミでの学習交流を通して学友との絆を強め、4回生の卒業研究へとつながる基礎づくりにしましょう。</p>		
成績評価法	・出席状況・制作活動の様子・学習成果・自己評価などによって総合的に評価する。		
テキスト	必要に応じてテキスト・資料を紹介する。		
参考書	適宜紹介する。		
履修に当たっての注意・助言	<p>*各自、油彩用具一式を購入すること。(安価で購入できる店を紹介します。)</p> <p>*普段のゼミでは、教材研究などを中心に行うが、それとは別に日帰り写生会や写生合宿を行う。</p> <p>*予定以外にも、上・下級生との交流活動、地域活動への参加等を入れる予定です。</p>		
講義計画			
回	活動内容		
1回	学習計画の設計(研究課題、心得、実習関係事項等)		
2回	「鉛筆画」の描き方 鉛筆表現の基本と指導		
3回	「パス画」の描き方 パス表現の基本		
4回	「パス画」の描き方 パス表現の指導		
5回	「水彩画」の描き方 水彩表現の基本		
6回	「水彩画」の描き方 水彩表現の指導		
7回	造形表現・図画工作科の保育・授業の仕方		
8→11回	《教育実習》		
12回	《教育実習》反省会		
13回	「レポート」の書き方 論文の基本		
14回	「デッサン」の描き方 形取り		
15回	「デッサン」の描き方 陰影の付け方		
16回	「パス画」の描き方 パス指導の実際①		
17回	「パス画」の描き方 パス指導の実際②		
18回	「水彩画」の描き方 水彩指導の実際①		
19回	「水彩画」の描き方 水彩指導の実際②		
20回	「鑑賞」のし方 鑑賞活動の指導		
21回	「版画」の表現方法 版表現の指導		
22回	「版画」の表現方法 版表現指導の実際		
23回	「貼り絵」の表現方法 貼り絵表現の指導		
24回	「貼り絵」の表現方法 貼り絵表現指導の実際		

- |     |                  |           |
|-----|------------------|-----------|
| 25回 | 「彫塑」の表現方法        | 粘土表現の指導   |
| 26回 | 「彫塑」の表現方法        | 粘土表現指導の実際 |
| 27回 | 「造形遊び」の仕方        | 造形遊びの指導   |
| 28回 | 「造形遊び」の仕方        | 造形遊び指導の実際 |
| 29回 | 「鑑賞」の仕方          | 鑑賞指導の実際   |
| 30回 | ゼミ年間評価会（作品提出・鑑賞） |           |

\*受講生のニーズや成長度合に合わせて、変更する場合があります。